

マーケットの動き（2021年9月27日～10月1日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

中国の不動産問題や電力供給制限、米国の債務上限問題、サプライチェーンの混乱等が懸念材料となり、リスクオフムードが強まりました。自民党の新内閣人事が報じられると失望売りが広がったほか、週末にかけては、前日の米国株式市場の下落を受けて続落し、日経平均株価は2万9,000円台を割り込んで週を終えました。

投資環境見通し（2021年9月）

国内株式相場は上昇傾向に向かう

国内株式相場にとって、任期満了を前にした衆院選日程を巡る先行き不透明感や、中国政府の民間企業に対する規制強化が懸念材料と考えられます。一方で、新型コロナウイルス変異株の世界的な感染拡大については相当程度織り込まれたとみられる中、企業業績の改善基調が続き、株価の割安感が強まっていることから、株式相場に対する下押し圧力は次第に低下し、上昇傾向に向かうと予想しています。

	10月1日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,986.31	▲5.00%	0.28%	1.46%	22.20%
日経平均株価	28,771.07	▲4.89%	1.12%	▲2.10%	24.09%

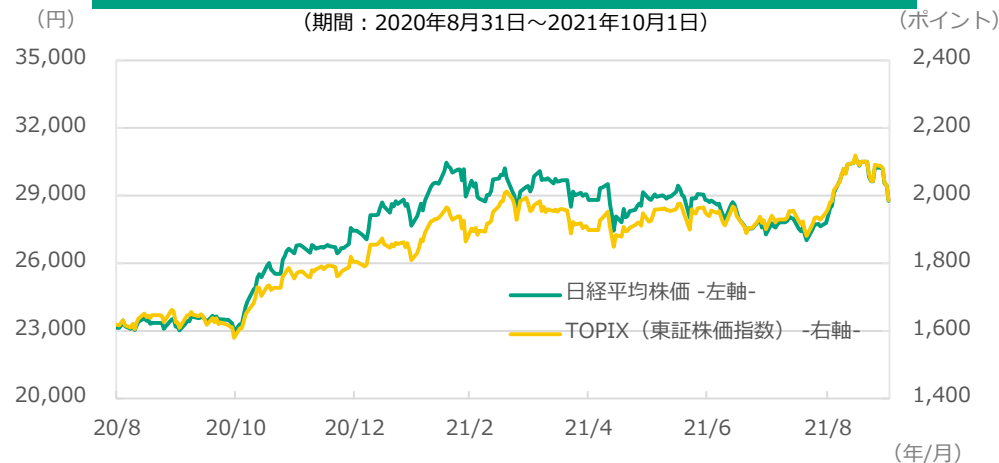
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202109_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目録見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2020年8月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成